

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和4年4月20日（水）
- 2 確認箇所
2号機原子炉建屋1階西側
- 3 確認項目
2号機原子炉建屋における地震計の設置状況

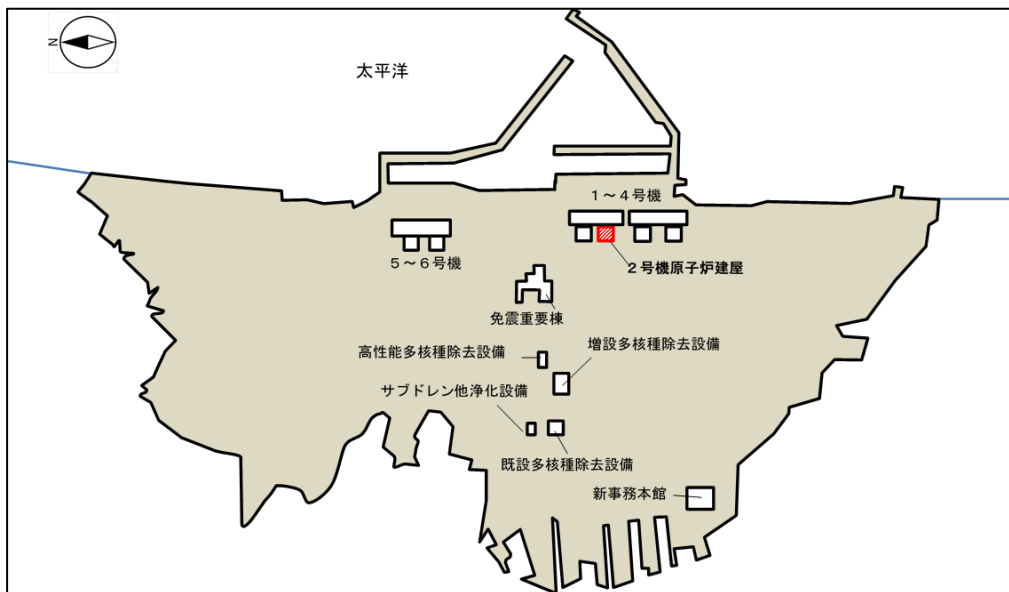
4 確認結果の概要

東京電力では、1～3号機原子炉建屋の建屋健全性評価の取組の一環として、3号機原子炉建屋については、1階及び5階オペレーティングフロアに地震計を設置し、建屋全体の経年変化の傾向把握等を目的とした観測を継続的に実施しており（令和3年8月30日多重化（2台/箇所）運用開始）、1号機及び2号機原子炉建屋については地震計設置を検討してきた。

2号機原子炉建屋については、令和4年3月29日に1階床レベル及び5階オペレーティングフロアレベルへの地震計（各2台）の設置が完了し、3月31日に運用が開始されたことから、地震計の設置状況を確認した。

（図1）（3号機地震計前回確認日：令和3年10月5日）

- ・1階床レベルの地震計は、2号機原子炉建屋1階西側屋外のコンクリート基礎（高さ約1m）に設置されており、2台ともケースに収納されていた。（写真1）
なお、コンクリート基礎は、大雨による水没対策として新たに構築されたものである。
- ・収納ケースには、雨水の浸入及び小動物の侵入が可能な隙間や亀裂等は認められなかった。（写真2）
- ・5階オペレーティングフロアレベルの地震計は、オペレーティングフロア床付近の原子炉建屋西側外壁に設置したとのことであるが、設置場所周辺が立入規制されているため今回は現地を確認しなかった。
- ・東京電力によると、1号機原子炉建屋については、地震計の設置に向けて引き続き検討を進めていくとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
地震計の設置状況①
(西側から撮影)



(写真1-2)
地震計の設置状況②
(南西側から撮影)
※赤丸印のケースの中に2台の地震計
が収納されている。



(写真2)
地震計の設置状況③
(西側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。